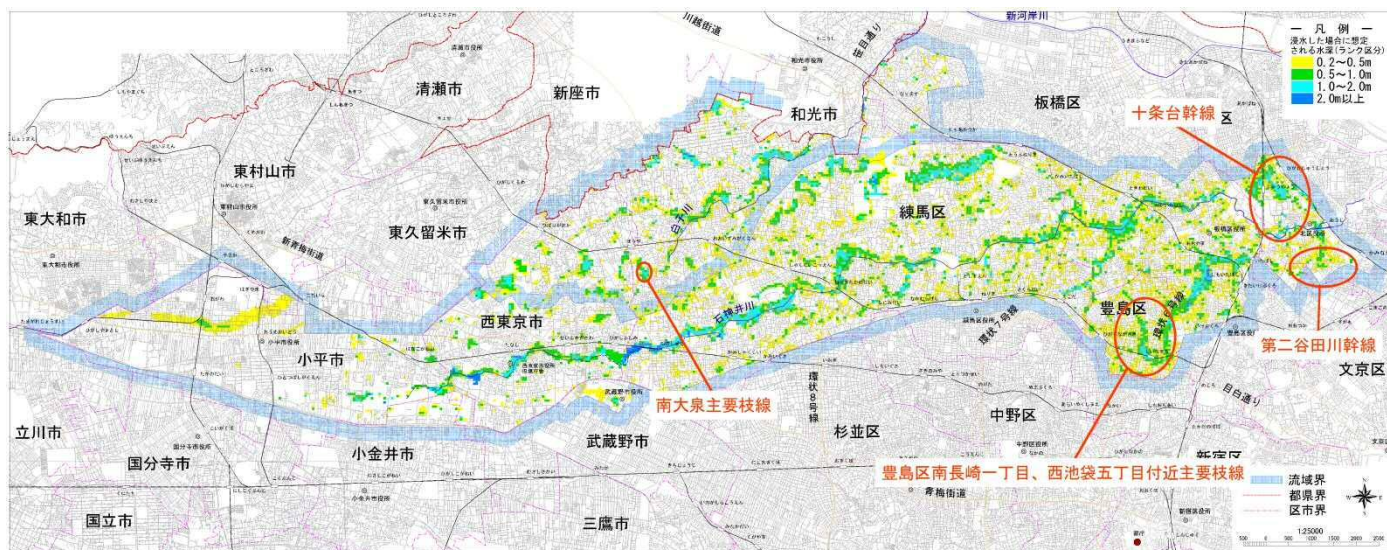


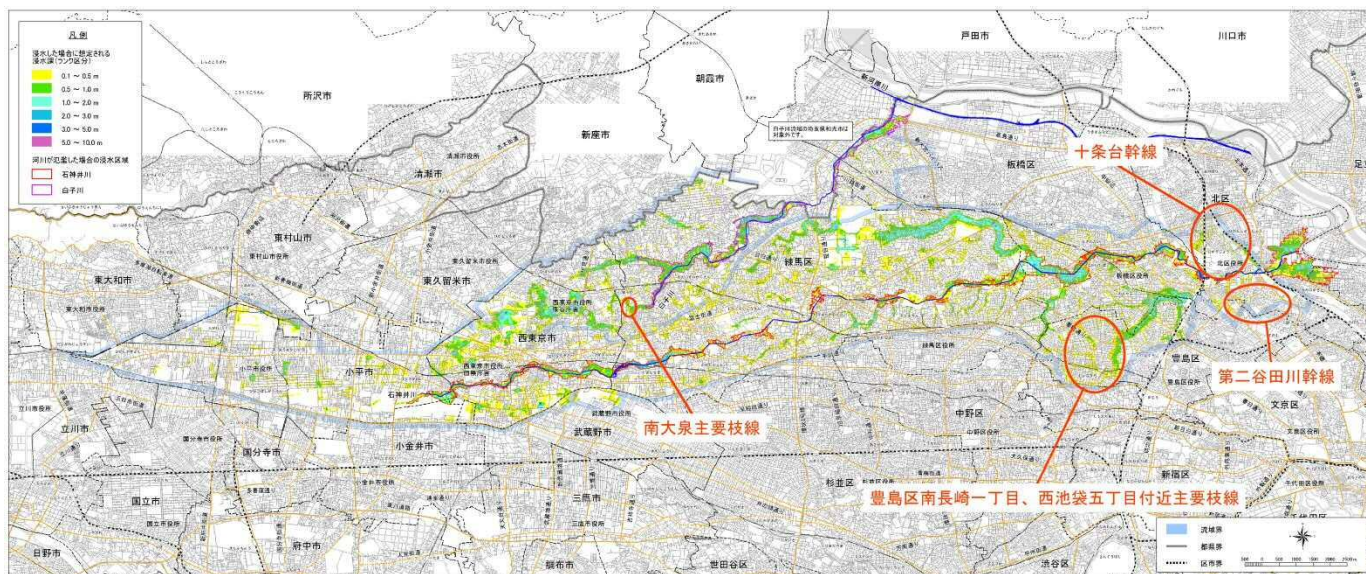
# 石神井川及び白子川流域 浸水予想区域図

赤字：整備が進んだ施設の内容  
赤丸：浸水面積が減少している代表的な地域

【改定前】 平成 15 年 5 月公表  
対象降雨：東海豪雨(1 時間 114 ミリ)



【改定後】 令和元年 5 月公表  
対象降雨：想定最大規模降雨(1 時間 153 ミリ)



改定前の浸水予想区域図は、平成 14 年度の施設状況を反映して作成し、改定図は平成 29 年度の施設状況を反映して作成しています。

この間、下水道では、合計延長約 4.2km の下水道管（内径 2.1～3.25m）や約 3 万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>の貯留施設の整備など多くの施設を整備しています。

赤丸で示す地域では、赤字の下水道施設を整備しており、浸水面積や浸水深が減少しています。

次ページに、特に浸水面積や浸水深が減少した地域の拡大図を掲載しています。



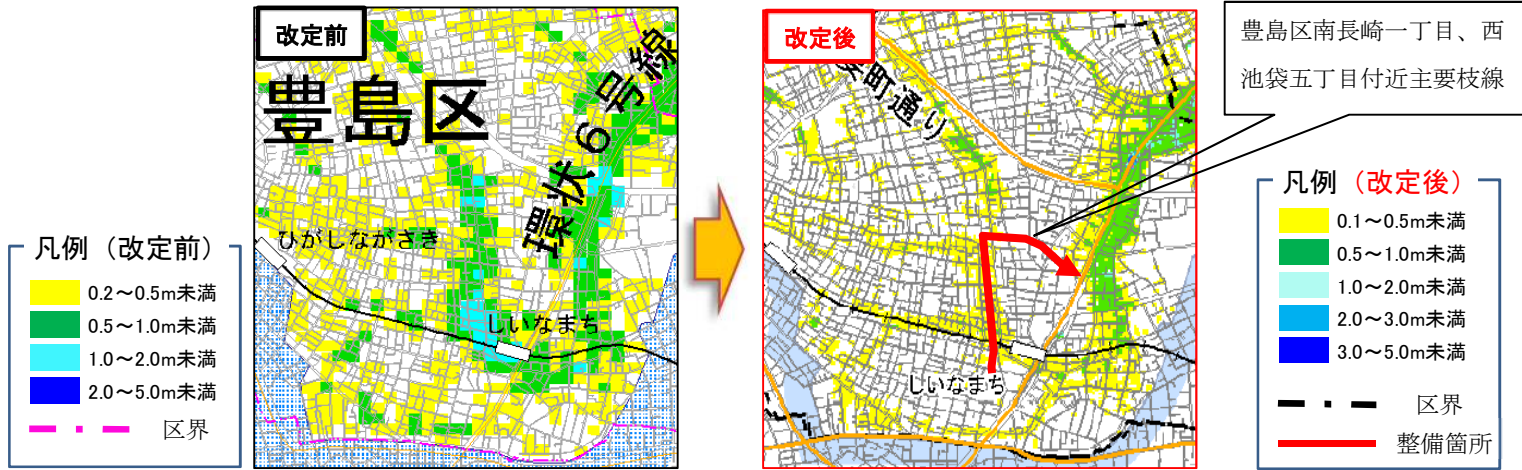
# 石神井川及び白子川流域浸水予想区域図(拡大図)

この拡大図は、石神井川及び白子川流域の中で特に浸水面積や浸水深が減少している地域です。

左図が改定前(対象降雨: 1時間114ミリ)、右図が改定後(対象降雨: 1時間153ミリ)のシミュレーション結果です。

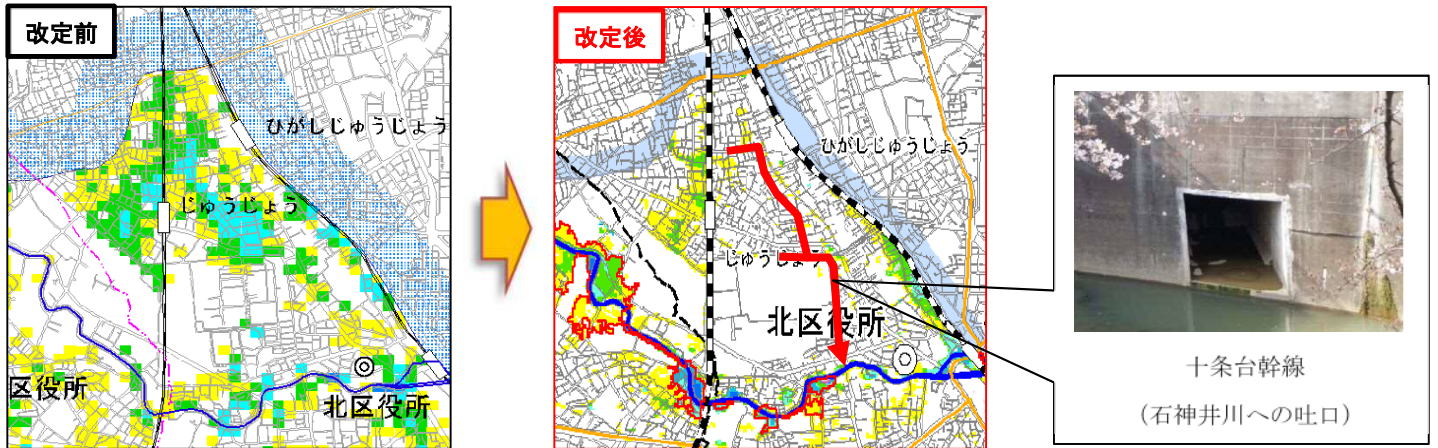
## 【豊島区千早・長崎周辺】

豊島区千早・長崎周辺では、「豊島区南長崎一丁目、西池袋五丁目付近主要枝線」(直径3.25m:延長約1.3km)が平成19年に完成しました。



## 【北区中十条、十条台周辺】

北区中十条、十条台周辺では、十条台幹線(直径2.1m~2.9m:延長約1.6km)が平成17年に完成しました。また、十条台幹線の完成に伴い、石神井川への吐口を広げ、河川への放流量を増やしました。



## 【北区西ヶ原周辺】

北区西ヶ原周辺では、第二谷田川幹線が平成20年に一部完成しました。暫定貯留容量は約18,000m<sup>3</sup>あります。(学校のプール約60杯分に相当)また、再構築により下水道管きよを增強しました。

